



## Release Notes—version 1.0.1

初めてKi Proを使う場合は、この書類と、クイックスタートガイドを必ず確認してください。

クイックスタートガイド：<http://www.aja-jp.com/download/install-guide/>

### 新機能

以下の機能がバージョン1.0.1ファームウェアに追加されました。

- ・ 新パラメータの追加：8.3 ARM RECORDING  
このパラメータには、REC KEY（レコードボタン）またはTC/REC KEY（タイムコードのスタートまたはレコードボタン）の選択肢があります。タイムコードでの収録開始を行う場合は、パラメータ番号8.0、8.1および8.2が正しく設定されている必要があります。
- ・ SELECTボタンとADJUSTボタンを押し続けることで、クリップ選択とフレーム送りを繰り返し行うことが可能に
- ・ Final Cut Proで生成された、24ビットステレオまたはデュアルモノラルオーディオを含むApple ProRes 422またはApple ProRes 422 HQのQuickTimeファイルの再生  
16ビットオーディオは現時点ではサポートされません。
- ・ ステータス画面に「HQ」表示を追加  
パラメータ14.1でEncode TypeがProRes 422 HQに設定されている場合、生成されるファイルがProRes 422 HQであることを示すために、ステータス画面のRECラインに「HQ」と表示されます。クリップ再生中は、ステータス画面の表示がIN/RECからMEDIA/OUT CONVに変化し、ProRes 422 HQのファイルが再生されている場合は、MEDIAラインに「HQ」と表示されます。
- ・ 802.11 MAC Addressのメニュー番号を25.0から50.7に変更

### 下記のビデオフォーマットをサポート（バージョン1.0から変更なし）

- 525i 29.97
- 625i 25
- 720p 50および720p 59.94
- 1080psf 23.98
- 1080i 25および1080i 29.97

### 改良と修正点

- ・ 長時間の収録を行った場合にファイルを閉じる時間を考慮して、バッテリー残量が低い場合のシャットダウン時間を拡張
- ・ 長時間の収録を行った場合にファイルを閉じる作業を効率化し、バッテリー残量が少ない場合の挙動も最適化
- ・ アナログ出力を改善
- ・ Ki Storage Moduleのマウントとアンマウントを改善



- ・ 有線ネットワーク時のDHCP設定を改善
- ・ Webコントロール画面のリロードを最適化
- ・ 大きなファイルを再生中のトランスポートコントロールの反応を改善
- ・ 入力信号がない場合の収録開始に対して警告を表示するよう変更
- ・ ストレージが破損しているまたはフォーマットされていない場合の警告を最適化
- ・ WebコントロールのClipページ内で、現在選択されているクリップをハイライト表示するよう変更  
(ただし、この情報は自動的に更新されないため、リフレッシュボタンを押すか、ページをリロードする必要があります)

**下記は将来のファームウェアアップデートによって対応を予定している機能です。**

- ・ ExpressCard/34メディアへの収録および再生
- ・ Ki Pro本体のFireWire 800ポートを使用した「メディアリーダー」機能
- ・ SDIおよびHDMIからの8チャンネル・オーディオ入出力（本ファームウェアでは2チャンネルのみをサポート）
- ・ Apple ProRes 422（LT）、Apple ProRes 422（Proxy）での収録
- ・ Variable Frame Rate (VFR)での収録
- ・ RS-422によるデバイスコントロール
- ・ LANCおよびLens Tapによるデバイスコントロール
- ・ FireWire 400ポートからのタイムコード入力

## 使用上の注意点と既知の問題

- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Proとの接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードして下さい。
- ・ Factory Reset（メニュー99.0）を行った場合、REEL番号を表示しなくなる場合があります。この場合は、SLOTボタンを押してメディアをアンマウントし、再度SLOTボタンを押してマウントして下さい（物理的にストレージを取り外す必要はありません）
- ・ Ki Proで収録したクリップをFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Proで使用できます